

趣旨説明

山形大学 学術研究院

教授 浅野 茂

こんにちは。ただ今、ご紹介にあずかりました山形大学の浅野です。事前にリハをして小湊先生と打ち合わせをしたはずなんですけど、ほとんど話をさせていただいたので、私のほうからは特段申し上げることはなくなってしまいました。やや詳しくという指示がございましたので、その方向性でいきたいと思います。

大学評価コンソーシアムとは

- 有志が集う小規模な相互交流・相互研鑽の場を発展させ、2009年から組織的かつ活発な活動を展開するために設置した任意の組織。
- 2016年8月24日現在の会員数は、597名（204機関）
- 主として、以下の活動を展開
 - 大学評価担当者集会（年1回）
 - 大学評価、IRをテーマにした勉強会・研修会開催（不定期）
 - IR実務担当者連絡会（年4回程度）
 - 情報誌「大学評価とIR」の発行（年4号）

私のほうからは大学評価コンソーシアムとは何かということ、大学評価担当者集会のこれまでの経緯をお話しさせていただきます。その前に、毎回、恒例の質問をさせていただいているので、まずそこからいきます。今回、初めて大学評価担当者集会に参加された、あるいは大学評価コンソーシアムのイベントに初めて参加されたという方はどれぐらいいらっしゃいますか。挙手

にご協力いただき、ありがとうございます。ざっと拝見する限り、おおよそ 5 割以上の方に挙手いただいた感じですね。去年は、初参加の方は 3 から 4 割ぐらいでした。ですので、先ほど小湊先生からもお話しいただいたように、かなり皆さまにご興味を持っていただけるのかなと思います。ちなみに、大学評価コンソーシアムのイベントではなくて、大学評価担当者集会に初めて参加したという方、どれぐらいいらっしゃいますか。挙手にご協力いただき、ありがとうございます。なるほど、大学評価担当者集会のほうが初めての方が少ないということですね。

では、本題に入ります。大学評価コンソーシアムは、2009年にわれわれが組織いたしました任意の組織になります。もともとは、先ほど小湊先生のお話にもありましたけども、当初は有志が集う小規模な相互交流・相互研鑽の場ということで、当初は多分 20 人ぐらいだったと思いますけども、国立大学の評価担当者が一堂に会して、それぞれの課題を持ち寄って議論をするところからスタートしています。本年、8月24日現在までに会員登録いただいています状況から、会員数は 597 名を数えるようになっています。機関数でいきますと 204 機関、当初からすると非常に多くの、また多様な機関の皆さまにご興味を持っていただいているのかな、というふう

じます。

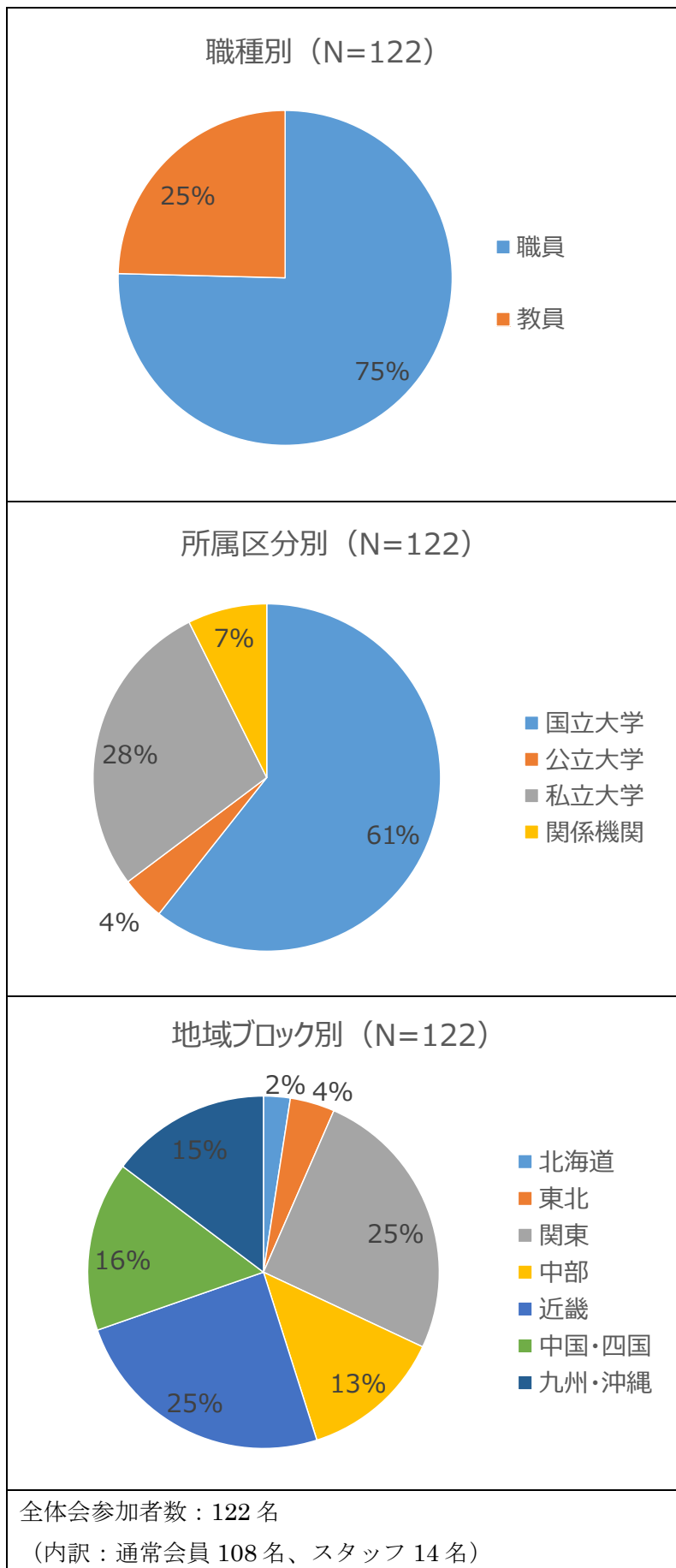
コンソーシアム自体の主な活動といたしましては、こちらに挙げております 4 点になります。メインイベントは、この大学評価担当者集会であり、年 1 回開催、例年 8 月から 9 月ぐらいに開催させていただいています。それとは別に、大学評価であったり、昨今皆さまに関心の高い IR であったりをテーマにした勉強会や研修会を、不定期ではありますが、年 2 回から 3 回程度、開催させていただいているという状況です。特に IR についての関心が多くなっておりますので、そういったものにお応えするために IR 実務担当者連絡会というのを、年間 4 回程度開催しております。この会については、参加登録開始から 1 日か 2 日で定員が埋まってしまうぐらいの人気となっているのですが、どうしても個別のテーマを持ち寄ってそこで深く議論をするという会の趣旨がありますので、定員をかなり少なくしてやっているという状況です。この会で発表いただいた内容を蓄積していくため、冊子体で発信する取組として『大学評価と IR』という情報誌の発刊にも取り掛かっています。現在、年間 4 号発行しております、全体でいきますと今のところ 6 号積み上がっていると思います。以上が、コンソーシアムの主な活動です。

大学評価担当者集会とは

- 九州大学が世話人となって 2007 年から開催。
 - 当初、法人評価や認証評価への対応が中心テーマ
 - 20 名程度の有志が集う小規模な相互交流・相互研鑽の場
- 2009 年からは、「大学評価コンソーシアム」として開催。
 - 相互交流、相互研鑽(みんなが少しずつ出し合つてともに学び合う)の場という理念を継承
 - 教育及び大学経営の質の向上(PDCA)の実現
 - 評価を基本としつつ、米国 IR の考え方から学ぶ
 - IR 活動に係る事例の蓄積と共有

大学評価担当者集会に関しましては、九州大学が世話人となって 2007 年から開催しております。先ほど、「大学評価コンソーシアムは 2009 年設立」とお話ししましたが、大学評価担当者集会は 2007 年から開催しております。当初、20 名程度の有志が集う小規模なイベントでしたが、2009 年の大学評価コンソーシアムの設立に伴い、当初の理念は継承しつつも、ここに

書いてありますような大学全体の評価と質的な向上、あるいは昨今関心が強い IR について現場レベルでいろいろ考えていくということを目的として活動しているところでございます。ですので、少し先取りされてしまったんですが、めでたく大学評価担当者集会については 10 周年という形で現状に至っております。アニメーション付きの派手なスライドを準備して説明したのですが、あまり受けなかったですね。音を入れるなどの工夫したら、もう少しインパクトはあったかもしれません。



参加者につきまして、このグラフにありますように、今回122名の方に登録いただいています。内訳を見てきますと、75パーセントが職員の方、25パーセントが教員の方です。それから、所属機関の区分で見させていただきますと、国立大学が6割、私立が3割弱、公立、関係機関が10パーセント未満という形ですが、半数以上が国立の方となっています。それから地域ブロックで見っていきますと、大体、北海道、それから東北が若干少なめですけども、全体を見まして関東から西の大学から来ていただいているという状況です。

タイムテーブル（1日目）

全体会 13:30 – 17:25

- 13:45–13:55 概論「評価からロジックモデル（指標）へ」
13:55–15:10 数値目標、指標の設計と運用に関する事例紹介
15:25–17:10 演習・講義「ロジックモデルの作り方」
17:10–17:25 全体共有（まとめ）

大学評価コンソーシアム総会 17:35-17:50

懇親会 18:00 – 20:00

続きまして、タイムテーブルの説明をさせていただきます。まず本日、第1日目ということで、1時半にスタートいたしましたけども、この後、全体会を5時25分まで実施いたします。全体会終了後、大学評価コンソーシアム総会を17時35分から17時50分まで開催し、その後、6時から8時まで懇親会というタイムスケジュールを組ませていただいております。長丁場となります

ですが、お付き合いいただければと思います。

全体会

13:45–13:55 概論「評価からロジックモデル（指標）へ」

小湊卓夫（九州大学 基幹教育院）

13:55–15:10 数値目標、指標の設計と運用に関する事例紹介

13:55–14:20 「確実な計画達成と自己点検・評価をIRから支援する」

末次剛健志（佐賀大学 総務部 企画評価課）

14:20–14:50 「内部質保証と評価指標をロジックモデルで整理する」

山本幸一（明治大学 教学企画部 評価情報事務室）

14:50–15:10 「大学の諸活動を測る指標の現状と課題－国立大学の指標を捉える－」

藤井都百（名古屋大学 評価企画室）

（休憩15:10–15:25）

全体会ですけども、基本的にはここに皆さまにも事前にご確認いただいているプログラムの流れでいきたいと思います。まず、『評価からロジックモデルへ』というところの概論を小湊先生にお話をいただきまして、その後、『数値目標、指標の設計と運用に関する事例紹介』ということで、佐賀大学の末次さん、明治大学の山本さん、それから名古屋大学の藤井先生に話

題提供いただきます。

全体会

15:25-15:40 講義「ロジックモデルの作り方」小湊卓夫

架空の大学の計画とデータをもとにロジックモデルを作ってみます。個人ワークや近隣の方と話をしながら作業を進めていただきます。

15:40-17:10 演習

第1セット (15:40-16:20)

第2セット (16:20-17:10)

17:10-17:25 全体共有 (まとめ)

その後、休憩を挟みまして、実際のワークショップをしますので、そこでどういった作業をするのかというのを、もう一度小湊先生にご説明いただきまして、15時40分から5時10分の間に演習を2セット予定しております。第1セットは少し軽めなものですけども、第2セットは少し皆さんと会場で許す限り議論をして進めていきたいと思います。そして最後の全体共有とい

う形でくりたいと思います。

タイムテーブル（2日目）

分科会 9:30 - 16:00

評価・IRの実践・課題共有セッション

■AS251セミナールーム(この会場)

評価初心者セッション

■AS368セミナールーム(このウイングの3階)

それから2日目ですが、明日、9時半スタートで、評価・IRの実践・課題共有セッション、評価初心者セッションの2つのセッションがあります。一つ目のセッションに参加登録いただいた方は、明日は直接この会場、こちらのAS251というのがございますけども、こちらの会場にお越しいただきたいというふうに考えております。また二つ目の評価初心者セッションにご参

加いただく方は、この上の3階にAS368というセミナールームがございますので、そちらのほうに直接お越しいただくということになっております。

お願い

- 大学評価担当者集会の内容、成果は原則的に公開となります。ご発言、成果物、記録用写真などもwebサイト等で公開させていただきますので、あらかじめご承知おきください。
- 参加者アンケートを実施させていただきますので、ぜひともご協力ください。
- (毎度ながらのお願いとなりますが) 携帯電話の通話や動作音等については、回りの参加者のみなさまにご配慮ください。

最後をお願いになります。大学評価担当者集会に關しましては、成果は原則公開となっております。そのため、ご発言いただいた内容、あるいは成果物、また記録用写真などもウェブで公開させていただきますので、その点あらかじめご了承くださいたいと思います。もちろん個人が特定されるような写真とかは掲載いたしませんので、そこは配慮いたしますが、そういったこと

とがあるということをご承知おきいただければと思います。

また、参加者アンケートというのを資料に含ませていただいておりますので、そちらのほうについても、ぜひご協力をいただきたいと思ひます。例年、皆さまからいただいた意見であったり、アンケートのコメント等を参考にしながら、次年度の計画、あるいはこの企画の参考とさせていただきますので、ぜひ忌憚のないご意見をお願いしたいと思ひます。また、携帯電話の通話、あるいは動作音に關しましては、周りの参加者のご迷惑となりますので、その点ご配慮いただきたいと、こういうふうに思ひます。

名札に属性シールを貼ってください

佐賀大学 総務部 企画評価課
末次 剛健志
(1月主担)

- 事務系統は、現在だけでなく、これまで一番経験が長い系統も貼っていただかまいません。
- 白色のシールはご自由にお使ひください。(ここにはない系統、知りたいこと等)

なお、昨年からはじめさせていただきますいたんですが、皆さんも受付でお受け取りいただいたものです。説明の都合上、実名を晒してしまい末次さんには申し訳ないのですが、こういった名札とシールを皆さまの机に配置しております。お願いしたいのはシールを名札に張っていただきたいということです。該当するシール、私ですと国立大学で教員でIRで、いろいろ貼ってますけども、

そういった形でばっと見て、今後のワークショップであったり、これからのグループセッションなどで簡単に参加いただいております皆様の情報をわかりやすく示すため、ぜひ貼っていただ

ればと思います。もちろん、今回から初参加の方はかなり多くなると思いますので、そういったものも貼っていただいて、皆さんとコミュニケーションの材料にいただければ、というふうに思います。私の説明は以上です。長丁場となりますが、2日間、どうぞよろしくお願いいたします。